

ありがとうございます

こ、マイヤインター店の前で募金活動を行いました。一中の先生方にもご協力いただきました。

RCC委員会を中心とな
り、この月の大雨で大変
な被害にあつた鹿児島
県肝付町へ義援金を贈
るために募金活動を行
いました。7月13日か
ら、18日まで各学級で
JRCC委員が募金をつ
のり、また、7月12日、
17日、18日には、生徒
会幹事部が中心となり、

21万
8256円
集まりました

全額、
肝付町役場へ

平成24年
7月20日(金)
大船渡市立
第一中学校
学校新聞「希望」
第22号
発行責任者 高橋莉子

重くなつて、ついました。
まるで、大船渡の皆さん
のやな（レナ）と、肝付
町への風返しの思いを
手にして、じるようにな
りました。

よると募金は6月の大
雨の被害にあつた方が
先日の九州豪雨の被害

をうけた方に使いたい
といつだ。『一協力あり
がどうで』(ギン)いました。

募金していいだいたお金は、集計がされるひとひとつにまとめて校長室の金庫

大船渡
市

みんなの気

募金して下さいました。
私たちが考
えるよりも
ずっと大船渡の人た
ちは肝付町との絆を
大事にしている事に
胸が熱くなりました。

も、たから、支援の
ありがたや、うれしさ
がわが、たくさんの
気持ちが集まつたのだ
と思いました。これが
らも、ここ大船渡から
たくさんのお手紙を届け
たいです。(布田苦也)

本当にありがとうございました。このお金は
元気づけると思います。あの時、私たちが肝付
町から元気をもう、た
うに。

「希望」第21号も載せました。マイヤを訪ねた市民の皆さんへ、ビラを手にすると、笑顔で募金してくださいました。小さな子供からお年寄りまでたくさんの方に募金していただけ、あ、という間に募金箱は、ず、れりと、

てもたくさん集まり、お金支數えた川名先生は涙が出そうになつたそうです。また、一中生から、5万6千86円、先生方から、3万円、1330円が集まり、総額で21万8千56円を贈ることができました。肝付町役場の方に

学生でも、募金活動のようなんのためになる活動ができるということです。僕たち中学生は「復興の担い手になる」と言つてきました。しかし僕は、中学生はまだ子供だからでくることは何もないと思つていました。です

でも貢献しなれば」とい
気持ちの大好きな「とい
うこと」がわざりました。二つ目は、地域のま
なさんたちのあたたか
さに感動したことです。
募金の最中、まなさん
から「助けてもらつた
からね。」「頑張つてね。
など、肝付町を気づか
う言葉をかけてもらひ、

との間に収められたものを、JRCC委員が見せてもらいました。その箱はびっくりするほど重いものでした。15kg近くあるそうです。一人ひとりの募金は少くなくとも、たくさんの人々の募金が集まると、これほどまでの重さになるのがびっくりしまして、一人

が今回の募金活動を海
まつて、僕たちが行えるの
はとても小さなことでは
すが、大事なのは少し

みんなの
募金活動" した。3日間
終わり、全て
のお金が、ひ

学びあり
★感動あり

重い♪
れるとひとつ
にまどめられ
て校長室の金
庫に保管しま